PDCA	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	度実施事業分)事務事業評価評価票					1	
	事務事業名	介護予防・生活支援サービス事業(通 所型サービスC認知症特化型)	部課等名	福祉部 者福祉担	高齢介護詞 当	果 高齢	担当 内線等	斉藤 377
		章: 第2章 子育てと	」 暮らしを地域				内脉守	3 <i>11</i>
Р	政策体系	節: 第2節 地域福祉		12/11				
•		基本施策: 2. 高齢者福祉						
総		単位施策: (3) 高齢者の日	常生活の支援					
総合計画	担加法人签	個別施策:②介護予防の推進						
計	依拠 法节等	F 介護保険法 						
画との関係性等	対象・目的	要支援認定者及び基本チェックリスト該当者が、可能な限り自立した生活を送ることができるように、認知症の予防及び重度化の予防を図る教室を開催する。						
	目的を達成 するための 手段・活動 内容	レーニングを行う教室を、学習サポーター(ボランティア)の協力を得て開催する。						
	活動結果	活動実績			H30年度	R1年度	R2年度	単位
D 前 年		①通所型サービス C (認知症	E特化型)参加	旧者実数	60	62	_	人
		②開催会場数			7	7_	_	か所
				事業費	2. 402	2, 362		千円
					2, 402	1, 863	-	千円
度の				総事業費	4, 588	4, 225	0	宇苗
活		活動単位当たりのコスト			H30年度	R1年度	R2年度	単位
動		参加者一人当たりの経費			76. 4	68. 1	_	千円
の活動結果と見られ								
果		成果指標			H30年度	R1年度	R2年度	単位
ح	成果	①参加者実数		実績値	60	62	- NZ 十/文 -	- 人
見				目標値	70	70	_	
b		②修了者率						
				実績値	91. 7	93. 5	_	%
た 成			- 18 11 -1 -24	目標値	90. 0	90. 0	_	- %
果		③簡易認知機能検査(MMSE) 率	の維持改善	実績値	60. 0	60. 0	_	
~		<u> </u>		目標値	90.0	90.0	_	70
<u> </u>	組占別証価	必要性		有効性	効率性			
C		①主の間上の立と性 マル	4上位施策へ	<u> </u>	++1	⑦コストド	加法人地	
	一組 占 別 シャル	117円の関子の女子14 安吉		の貝飲	人 つしい		训派未卯	ある
課	観点別評価 		⑤成果向上の		<u></u> ある	<i></i>		あ ^え の変更
課 題	観点別評価 	②市民ニーズ 高い		余地	ある	② コ ハ 「③ 受益者負担	※手段	の変更
課題の	観点別評価	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の	余地	ある		※手段	の変更
課題の整理	事業の	②市民ニーズ 高い ③休廃止の影響 大きい	⑤成果向上の ⑥類似事業の	余地 有無	<u>ある</u> ない	⑧受益者負担	※手段	の変更
整理	事業の	②市民ニーズ 高い ③休廃止の影響 大きい C	⑤成果向上の ⑥類似事業の	余地 有無	<u>ある</u> ない	⑧受益者負担	※手段	の変更
課題の整理	事業の	②市民ニーズ 高い ③休廃止の影響 大きい C 令和2年度はコロナウイルスの	⑤成果向上の ⑥類似事業の	余地 有無	<u>ある</u> ない	⑧受益者負担	※手段	の変更
整理	事業の 評価・課題	②市民ニーズ 高い ③休廃止の影響 大きい C 令和2年度はコロナウイルスの	⑤成果向上の ⑥類似事業の の感染拡大予防 とする中で認知	余地 有無 のため、開 機能低下の	ある ない 引催を中止る	⑧受益者負担	※手段 担適正化余地	の変更 なし
整理	事業の 評価・課題 今後の事業	②市民ニーズ 高い ③休廃止の影響 大きい C 令和2年度はコロナウイルスの 改善推進 高齢者の外出自粛期間が長期付高まっている。	⑤成果向上の ⑥類似事業の の感染拡大予防 とする中で認知	余地 有無 のため、開 機能低下の	ある ない 引催を中止る	⑧受益者負担	※手段 担適正化余地	の変更 なし
の整理 📕 🖊 課題解決のため	事業の 評価・課題 今後の事業 の方向性	②市民ニーズ 高い ③休廃止の影響 大きい C 令和2年度はコロナウイルスの 改善推進 高齢者の外出自粛期間が長期付高まっている。 令和3年度は感染対策を講じ が表記される。	⑤成果向上の ⑥類似事業の の感染拡大予防 とする中で認知	余地 有無 のため、開 機能低下の	ある ない 引催を中止る	⑧受益者負担	※手段 理適正化余地 、本事業の	の変更 ない か必要性に
の整理 📕 🛕 課題解決のため	事業の 評価・課題 今後の事業	②市民ニーズ 高い ③休廃止の影響 大きい C 令和2年度はコロナウイルスの 改善推進 高齢者の外出自粛期間が長期にある。 令和3年度は感染対策を講じた 成果指標	⑤成果向上の ⑥類似事業の の感染拡大予防 とする中で認知 と上で市内6会	余地有無のため、開機能低下の開催	ある ない 引催を中止る	⑧受益者負担	※手段 理適正化余地 、本事業の	かり 必要性は 単位
の整理 📕 🛕 課題解決のた	事業の 評価・課題 今後の事業 の方向性	②市民ニーズ 高い ③休廃止の影響 大きい C 令和2年度はコロナウイルスの 改善推進 高齢者の外出自粛期間が長期にある。 令和3年度は感染対策を講じた 成果指標 ①参加者実数	⑤成果向上の ⑥類似事業の の感染拡大予防 とする中で認知 と上で市内6会	余地有無のため、開機能低下の開催	ある ない 引催を中止る	⑧受益者負担	※手段 B適正化余地 、本事業の 目標値 60	の変更 ない 必要性は 単位 人